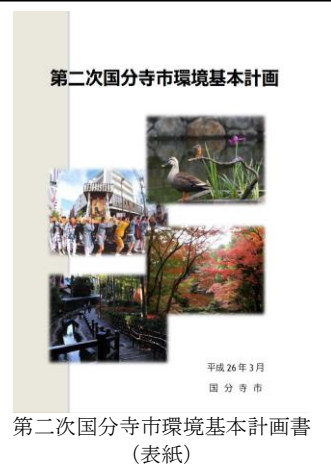


【フリートーク：次期環境基本計画に向けた現行計画の課題—生活環境—の討議】

4月16日（日）に開催したフリートークは、第二次環境基本計画（以下、「現計画」とする。）での生活環境に関する課題と計画全体に対する課題の討議となりました。現計画では、「安全・安心に暮らせるまち」とするため、生活環境分野として①生活環境の確保、②生活環境のモニタリング、③化学物質対策の推進、④食の安全性の確保、という4つの施策の方向を定めています。その方針に従い、生活騒音・振動・悪臭対策の推進や大気・水質・空間放射線量の測定等、11の主要な施策が展開されています。第三次環境基本計画（以下、「次期計画」とする。）を作成するに当たって考えなければならない課題はどのような点か、ひろば会員から以下のような意見が出されました。



「計画全体に関する課題」

- ・重点プロジェクトについて、既存の取組の寄せ集めになっており、施策の方向等とのつながりが分かりづらい。重点プロジェクトの取扱いをどうするかも議論した方が良い。
- ・環境の改善・保全のためには市のみでなく、市民・市民団体の活動が重要である。市・市民・市民団体の連携を図る仕組みと環境の回復・創造のために行われるべき市民活動が見える次期計画としたい。
- ・これまでの計画に基づき多くの取組が実施されてきたが、環境問題そのものが大きく変化している。次期計画では、現計画の5つの環境分野・施策の重要度を改めて見直し、現状に即した環境に対する認識を基本とし、環境の回復・創造に関しても計画内容を検討していく必要がある。
- ・常に、新たに発生した社会的課題、あるいは国分寺市の課題を取り込めるような次期基本計画でありたい。

「生活環境としての課題」

- ・生活環境としても、地球温暖化防止は喫緊の課題である。次期計画ではその施策の検討が必須となる。
- ・SDGsという考え方について、私たち市民が日常生活でどう取り組むべきかという視点での施策を考えていく必要がある。
- ・生活環境の大気、騒音、振動、悪臭の問題点を明確にし、必要な目標を定め、その達成のために何を行うかを明確にしたい。
- ・現在の取組をより推進するとともに、農地の減少への更なる対策や、持続可能なフードシステムを構築する施策等を検討してほしい。
- ・計画全体の表現や構成を改善したい。また、第一次計画の終了時と比較し、現計画の計画期間が終了したときは、農地などの市内の緑地等が減少していると思う。これまでの取り組んできた内容がどのような結果となったのかを明快に説明してほしい。

短い時間のフリートークではありましたが、様々な意見が出されました。今後も同様の討議が行われます。市報での開催情報等をご覧いただき、積極的に皆さんご参加ください。

【野川源流スクール】

“野川”は国分寺市を流れる唯一の河川です。国分寺市を源流として、湧水を集めて流れ、多摩川に合流する20kmほどの一級河川です。ところが残念なことに、小金井市より下流区間については整備が完了し、自然豊かな川になっているのに、国分寺市区間は整備が遅れており、コンクリート3面張りの残念な状態です。そのため“野川”の自然河川化は、市にとって悲願となっています。そこで、国分寺市区間の「野川整備計画」の早期実現に向けて気運の醸成をはかるため、市と市民団体との協働事業として「野川源流スクール」が開講されました。



野川流域の散策

ジュニア版は、小学4年生を対象に、野川についての学習（座学）と野川流域の散策、ガリバー地図作りを組み合わせた1日コースの授業です。一小（11/17）、四小（11/15）、七小（11/4）でそれぞれ実施されました。

シニア版は、一般市民（高校生以上）を対象に、野川のボランティアガイド養成の、講習と散策の1日コースの講座です。12/10、1/28の2回開講し、65名がボランティアガイドに登録しました。今年度も引き続き開講が予定されています。

（環境ひろば会員 龍神 瑞穂）

【姿見の池緑地・保全地域『希少種保護』の取り組みについて】

姿見の池緑地の大部分は、東京都の保全地域となっており、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、日頃から保全活動を行っています。

この度、東京都環境局自然環境部から多様性保全を目指すためのアンケート調査があり、その内容に基づく姿見の池緑地・保全地域における希少種の生息に係る現況を、市民の皆様にお知らせします。

ここでの希少種とは、「東京都レッドデータブック」に記載された、動植物生育地・生息地が減少したり、存続が危うくなり絶滅のおそれがある動植物です。

姿見の池緑地・保全地域の植物相調査を、4月24日に行いました。

保全地域には、250種の在来植物が植生し、キンラン等の希少種も生息しています。キンラン等数種の希少種は、年々増加し、群生しています。

2016年「姿見の池緑の会」設立以来、希少種の保護・拡大につきましては、ゾーニング、光合成環境の考慮、下草刈り、落ち葉の除去等の管理を丹念に行ってきた結果、2020年ごろから成果が出始め、本数の増加、群生地の発生が見られるようになりました。近年は特に成果が生まれています。またこれらの環境から、昨今は、保育・幼稚園児等多くの子供も達が訪れる「ランド」になっています。

この地域は、樹林・野草・野鳥・水の環境を末永く引き継ぐため、東京都条例により『植物の持ち出し・持ち込み』は禁止されています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。（姿見の池緑の会 白木昭憲）



キンラン

環境ひろばのお知らせ

6月18日（日）午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室（戸倉1-6-1）

『環境ひろば』は、環境（保全、回復、創造）について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

（あとがき）皆さん、「国分寺市環境基本計画」をキーワードとして、市のホームページを見てください。分りにくい内容かもしれませんが、今の国分寺市で行われている環境に関する施策がご覧になれます。そして、様々な環境の保全・回復・創造に関係した皆さんの活動をお教えてください。はじめは馴染みにくいかもしれませんが、環境ひろばにぜひ参加いただき、ご意見をお聞かせください。（佐藤）

国分寺市環境ひろば
事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL：042-314-9005（直通）

FAX：042-323-9060

Eメール：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp